



こんにちは。

葉っぱイ向島園園主 向島和詞です。

いつも、当園のお茶を御愛飲して頂きまして、誠にありがとうございます。

桜も咲き始め、春の訪れを感じます。今年は本当に寒い冬で、我が家の大道は毎朝凍結し、お昼頃まで水が出ないといった状況が何日もあり、水が使えるありがたさが身にしました。水をはじめ、さまざまなライフラインが私たちの生活を支えてくれています。震災から一年たった今も、当たり前にあることのありがたさに気づかされ、そのライフラインが、被災地ではまだまだ回復していないところもあり、厳しい状況の中にいます。春の訪れは復興の遅れなど、様々な問題を抱える心を、やさしく包み込んでくれます。

日本独特の四季。

春は桜をはじめとした自然のグラデーションに心和されます。自然は誰にも平等に、感動そして「生」を与えてくれます。自然は復興の遅れもなにもありません。本当につくづく私たちは生きています。

あらためて自然で、すごいですね！

でも、その自然も久々の寒い冬には参ったでしょう。(^^)

お茶たちも、今年は寒かったと思います。

久しぶりに寒い冬となったことはもちろんですが、昨年の福島原発事故による放射能汚染を改善する為に、当園では大掛かりな除染作業を行いました。

その除染作業の基本的な内容は、お茶の木から葉っぱをすべて刈取るといった除染作業だったので、今年は例年に比べてどの茶園も着葉がすごく少なく、お茶にとっては光合成をして養分を蓄える葉が少ない事は苦しいことです。

ただ、刈り込み作業をすると、樹勢が良くなり若返り効果もあるので、冬を越せば大変だった分、素晴らしい新芽が吹き始めます。

今年のお茶は、どの茶園も高品質でおいしい新芽が収穫できると思います。そして、丁寧に加工された、おいしい新茶を皆様にお届けできると思います。

また、除染作業の戒もあり、秋に放射能検査を行った際には、検出されないロットがいくつもありました。新茶時期には、より安全になっていると思います。収穫が始まいたら、直ぐに検査を行い公表していきたいと思います。

震災により、大小ありますが誰もが心苦しい思いをしました。それは、人間だけではなく、動植物・自然・地球と「生」あるもの全てです。

お茶と共に一年頑張りぬいた思いを、感じながら2012年 新茶 ご賞味頂けましたら幸いです。



番茶紅茶は、「SAKURA」を作るのに使用している。
静7132という品種で作りました。

一般的な日本紅茶に使用されているやぶきた品種とは違い、紅茶用の品種に似ているので、苦みが少ないのが特徴です。

また、夏から秋に収穫した茶葉を使う事により、

一般製品よりもミネラル分を豊富に含んでいたり、

低カフェイン・低タンニン紅茶となっており、体にやさしいお茶です。

